

# 総務文教常任委員会 資料

平成 30 年 9 月 4 日  
教育振興部 生涯学習課

# 目 次

・平成 29 年度指定管理者導入施設のモニタリング(業務の履行状況)

について

- 1 加東市やしろ国際学習塾・加東市滝野文化会館・・・P1～P6
- 2 加東市東条文化会館・・・・・・・・P7～P12

指定管理者モニタリング報告書並びにチェックシート【抜粋】

施設名：加東市やしろ国際学習塾・加東市滝野文化会館

サービスの質に関するチェックシート (チェックシート②)

②実地確認による評価 (※四半期毎のモニタリング時などに確認)

項目	必須	基準	評価	評価に対する説明等	
運営業務	○	利用者の意見・要望を施設の管理運営に反映させ、サービス向上に努めているか	○	アンケートの反映	
		利用者ニーズに即した事業内容となるようサービス向上に努めているか	○	アンケートの反映	
	○	利用者数や稼働率等を高める取り組みが行われているか	○	子育て世代を対象にした事業を多く開催し、新たな利用者層を拡大	
		利用案内や広報活動に工夫・改善が行われているか	○	パンフレットの刷新、ホームページの更新	
	○	開館時間・休館日、施設利用手続き(例：予約方法や利用区分)等で、サービス向上への取り組みが行われているか	○	必要に応じて、休館日の開館を実施	
	○	市民参加・市民協働への取り組み	○	合唱祭等の市民団体の発表イベント実施	
	○	地域・関係機関等との連携	○	地域と連携し、地域のチカラフェスティバルの開催や、三草ふれあい広場との協力関係を確立	
○	苦情や緊急事態発生時の対応	○	苦情や緊急事態発生時の対応(準備)の内容は適切に行われているか	○	適切に実施
○	人材育成	○	職員の資質や能力向上を図る研修等の取り組みが行われているか	○	公立文化施設協会の研修参加

維持管理業務	○	利用に支障をきたすような状況のまま放置されていないか(点検によって異常が認められる場合は、速やかに対応(市に報告、修繕等)を行っているか)	○	市へ随時報告
		指定管理者の責任区分の範囲内で、適切な修繕等が行われているか	○	適切な修繕を実施
		快適に利用できる環境となっているか	○	快適に利用可能
	○	利用に支障をきたすような状況のまま放置されていないか(点検によって異常が認められる場合は、速やかに対応(市に報告、修繕等)を行っているか)	○	市へ随時報告
		指定管理者の責任区分の範囲内で、適切な修繕等が行われているか	○	適切な修繕を実施
	○	トイレトーパー、消毒用品、手洗い用石鹸は常に補給されているか	○	補給済み確認
		全体的(駐車場を含む)に、清潔に保たれているか	○	全体的に清潔
	○	避難経路に障害物はないか	○	障害物なし
利用者の安全確保に係る訓練や研修等を実施しているか		○	消防訓練の実施、消防設備の操作習得	

外構・植栽等管理業務	○	機能・美観が良好な状態に保たれ、利用者が安全に利用することができるか	○	安全に利用可能
		利用に支障をきたすような状況のまま放置されていないか（点検によって異常が認められる場合は、速やかに対応（市に報告、修繕等）を行っているか）	○	市へ随時報告
		指定管理者の責任区分の範囲内で、適切な修繕等が行われているか	○	適切な修繕を実施
		樹木・花壇は良好に管理されているか	○	良好な管理
		草刈や除草はされているか	○	除草済み確認
環境への配慮		環境改善活動に資する取り組みを行っているか	○	分別し、可能なものはリサイクル

- ・「評価」欄には、「○ △ ×」で記入することとし、必須項目に該当しないものについては、未実施の場合は「未実施」と記入する。
- ・効果的な取り組みである場合は「○」、取り組み内容に課題がある場合は「△」とするほか、「評価に対する説明等」欄を有効的に活用して、評価を行う。
- ・上記項目は、指定管理者の業務内容に応じて、適宜、変更すること。

### ③提案事業の評価

項目	実施計画 (事業計画)	実施内容 (事業報告)	評価	評価に対する説明等 (目標達成度など)
地域のチカラフェスティバル乾杯!	定員377人	入場者227人	△	60.2%
講演会「東国原英夫講演会」	定員564人	入場者519人	○	92.0%
寄席「柳家喬太郎の怪談噺怪談牡丹燈籠」	定員287人	入場者192人	△	66.9%
県民芸術劇場「人形劇団クラルテ 11びきのねこ どんこ」	定員364人	入場者397人	○	109.1%
ぶらりひとり旅 岸谷香	定員517人	入場者380人	△	73.5%
佐久間良子朗読劇「大石内蔵助の妻 りく」	定員356人	入場者225人	△	63.2%

- ・「評価」欄には、「○ △ ×」で記入する。
- ・効果的な取り組みである場合は「○」、取り組み内容に課題がある場合は「△」とするほか、「評価に対する説明等」欄を有効的に活用して、評価を行う。

### ④自主事業の評価

項目	実施計画 (事業計画)	実施内容 (事業報告)	コメント (サービス向上への効果等)
フラ☆フェスタ	12フラダンス団体の参加	401人	市内文化団体の成果発表の機会になっている。来場者も多い。
民踊フェスティバル	7民踊団体の参加	375人	
プラスフェスタ	市内中高大学吹奏楽部・社会人吹奏楽2団体の参加	694人	
きらめきシネマ	映画の上映、全4回	1,426人	来場者数よりも採算にこだわって、事業展開を行うことに期待する。
茨木智博コンサート	オカリナ・コンサート	200人	
ケロボンズ	ファミリーコンサート	426人	
演劇「Sing a Song」	演劇	202人	

オカリナ・レッスン	2日間のワークショップ	140人	加東市の芸術文化の向上に貢献している。 加東市の主要イベントの後方支援や特産品のPRなどに貢献している。
スタインウェイ	高価なピアノを弾く機会	68人	
吉田類と加東で乾杯!	公開ラジオ	160人	
音楽の日in加東	各種音楽事業	812人	
ティータイム・コンサート	ピアノ演奏	132人	
音楽教室・バレエ教室	合奏、合唱、箏、バレエ等	157人	
定期演奏会・発表会	全7回開催	2,131人	
EXILEとDance	ダンス	434人	
はじめての香道	体験する伝統文化	13人	
おん☆かつ学校公演	小学3・4年生主対象の公演	市内11小学校にて実施	
音楽めぐり	地区へ外部発表	192人	
はじめてのフルート	初心者向けフルート体験	24人	
はりまコレクション	高齢者ファッションショー	208人	
加東フィルファミリーコンサート	ファミリーコンサート	833人	

収支状況等に関するチェックシート

チェックシート③

①収支の状況

項目		予算額 (事業計画)	決算額 (事業報告)	適否等検証 (計画・目的達成度など)
収入	指定管理料	59,900千円	59,900千円	
	利用料金	9,100千円	11,624千円	2,524千円収入増
	事業収入	9,040千円	6,423千円	2,617千円収入減
	その他収入	37,959千円	37,844千円	115千円収入減
	収入計(a)	115,999千円	115,791千円	208千円収入減
支出	人件費	16,452千円	16,551千円	99千円支出増
	施設維持管理費	1,501千円	2,640千円	1,139千円支出増
	事業費	96,878千円	95,584千円	1,294千円支出減
	その他 (公租公課など)	1,553千円	1,615千円	62千円支出増
	支出計(b)	116,384千円	116,390千円	6千円支出増
収支	(a) - (b)	▲385千円	▲599千円	

②収支の評価

項目	基準	評価	評価に対する説明等
指定管理業務の 収支	指定管理料等の範囲内（収支計画に沿った内容） で運営が行われているか	○	運営にあたり、収入増・支出減の 努力がなされている。
	収入増加のための取り組みがなされているか	○	必要に応じて、休館日の開館を行 い、利用料金収入の増加に繋げて いる。
	管理経費の縮減に関する取り組みがなされてい るか	○	清掃や保守点検等の業者につい て、長期契約を実施することで、 経費縮減に繋げている。
	効率的・効果的な運営が行われているか	○	プレイベントを実施することで、 来館者を増やし、事業収入の増加 を図っている。

- ・「評価」欄には、「○ △ ×」で記入する。
- ・効果的な取り組みである場合は「○」、取り組み内容に課題がある場合は「△」とするほか、「評価に対する説明等」欄を有効的に活用して、評価を行う。
- ・上記項目は、指定管理者の業務内容に応じて、適宜、変更すること。

## 平成29年度 指定管理者モニタリング報告書

施設名	加東市やしろ国際学習塾 加東市滝野文化会館
施設所在地	加東市上三草1175番地 加東市下滝野1369番地1
指定管理者	名称 公益財団法人 加東文化振興財団 代表者 勝本進 住所 加東市上三草1175番地
モニタリングの実施方針・方法等	本施設の管理運営業務の状況について、事業報告書、実地調査、利用者アンケート、指定管理者へのヒアリング等により確認した。 次のとおり、具体的な業務の履行状況等についての結果をコメントしたうえで、モニタリングの「総合コメント」及び「今後の改善に向けた考え方」を記載した。
担当課	加東市教育委員会 生涯学習課 TEL0795-43-0545 担当者氏名 稲岡孝泰

### 1 総合コメント

協定書等の基準を遵守し、適正に遂行できたと認められる。

従来の事業を活かしながら内容の充実に努め、市や関係団体、地域、学校等と連携した文化事業を展開している。また、施設の維持管理において、来館者が快適に利用できるよう、安全で清潔な施設環境の提供に努めている。

課題となるのは、ホールの利用状況であるが、やしろ国際学習塾ホールの稼働率は、全国平均以上の水準にあることは評価するが、やしろ国際学習塾ホールの利用者数、滝野文化会館大ホールの稼働率及び利用者数については、全国平均を下回っている。

引き続き利用者サービスの向上に努め、利用者増への取り組みに期待したい。

### 2 今後の改善に向けた考え方

市民のための文化会館であることを第一に、利用しやすく、安全で安心な施設であるとともに、文化に親しんでいただける憩いの場となるよう更に工夫する必要がある。また、長期的な修繕計画を作成し、施設の長寿命化を図り、市民に愛されるホールとなることが期待される。

### 3 業務の履行状況について

仕様書や協定書で定めた事業や業務は高い水準で達成されているが、ホールの利用状況に一部課題が残る。

やしろ国際学習塾ホールの稼働率は、59.1%（前年度比3.6%減）で全国平均を上回っているが、利用者数は16,806人（前年度比3,219人減）で、（公社）公立文化施設協会の調査の平均を下回っている。また、滝野文化会館大ホールの稼働率は38.5%（前年度比0.2%減）、利用者数は23,085人（前年度比2,050人増）で、両者とも平均を下回っている。

#### 【参考】（公社）公立文化施設協会の調査（平成27年度実績）

全国平均稼働率	53.3%
10万人未満の市の平均稼働率	45.6%
5万人未満の市の平均稼働率	41.8%
町村等の平均稼働率	40.6%
年間入場者数の全国平均	61,195人
10万人未満の市平均	34,345人
5万人未満の市平均	24,510人
町村等の平均	20,197人

### 4 サービスの質について

利用者アンケート調査結果の確認及び実地確認調査を行ったところ、提案事業及び自主事業に関する評価は良好である。また、施設維持管理においても、車いすの利用者や高齢者が快適にトイレの利用ができるようトイレの洋式化を行い、老朽化したロビー椅子の表替えを行うなど、清潔で利用しやすい施設に努めており、サービスの質は高いと言える。

### 5 収支状況等について

事業収支については、若干の赤字になっているが、健全な運営がされていると認められる。



指定管理者モニタリング報告書並びにチェックシート【抜粋】

施設名：加東市東条文化会館

サービスの質に関するチェックシート (チェックシート②)

②実地確認による評価 (※四半期毎のモニタリング時などに確認)

項目	必須	基準	評価	評価に対する説明等	
運営業務	利用者の意見・要望の反映	利用者の意見・要望を施設の管理運営に反映させ、サービス向上に努めているか	○	アンケートの活用	
		利用者ニーズに即した事業内容となるようサービス向上に努めているか	○	アンケートの活用	
	利用促進への取り組み	利用者数や稼働率等を高める取り組みが行われているか	○	前年度より稼働率は大幅に上昇している	
		利用案内や広報活動に工夫・改善が行われているか	○	情報誌、SNS、ホームページ、手作り新聞	
	その他サービス向上への取り組み		開館時間・休館日、施設利用手続き(例：予約方法や利用区分)等で、サービス向上への取り組みが行われているか	未実施	
	市民参加・市民協働への取り組み		市民参加・市民協働への取り組みを行い、公の施設の効用を發揮しているか	○	ボランティアの活用
	地域・関係機関等との連携		地域・関係機関等との連携を図り、公の施設の効用を發揮しているか	○	社吹奏楽団、歌謡クラブとの連携
	苦情や緊急事態発生時の対応	○	苦情や緊急事態発生時の対応(準備)の内容は適切に行われているか	○	適切に実施
人材育成	○	職員の資質や能力向上を図る研修等の取り組みが行われているか	○	研修の実施	

維持管理業務	建築物・設備の保守管理業務	利用に支障をきたすような状況のまま放置されていないか(点検によって異常が認められる場合は、速やかに対応(市に報告、修繕等)を行っているか)	○	市へ随時報告
		指定管理者の責任区分の範囲内で、適切な修繕等が行われているか	-	指定管理者の責任区分内では修繕なし
		快適に利用できる環境となっているか	○	快適に利用可能
	備品・什器の保守管理業務	利用に支障をきたすような状況のまま放置されていないか(点検によって異常が認められる場合は、速やかに対応(市に報告、修繕等)を行っているか)	○	市へ随時報告
		指定管理者の責任区分の範囲内で、適切な修繕等が行われているか	-	指定管理者の責任区分内では修繕なし
	清掃業務	トイレトーパー、消毒用品、手洗い用石鹸は常に補給されているか	○	補給済み確認
		全体的(駐車場を含む)に、清潔に保たれているか	○	全体的に清潔
	警備業務	避難経路に障害物はないか	○	障害物なし
		利用者の安全確保に係る訓練や研修等を実施しているか	○	訓練の実施を確認
	外構・植栽等管理業務	機能・美観が良好な状態に保たれ、利用者が安全に利用することができるか	○	安全に利用可能
		利用に支障をきたすような状況のまま放置されていないか(点検によって異常が認められる場合は、速やかに対応(市に報告、修繕等)を行っているか)	○	市へ随時報告
		指定管理者の責任区分の範囲内で、適切な修繕等が行われているか	-	指定管理者の責任区分内では修繕なし
		樹木・花壇は良好に管理されているか	○	良好な管理

		草刈や除草はされているか	○	除草済み確認
環境への配慮		環境改善活動に資する取り組みを行っているか	○	ごみの分別

- ・「評価」欄には、「○ △ ×」で記入することとし、必須項目に該当しないものについては、未実施の場合は「未実施」と記入する。
- ・効果的な取り組みである場合は「○」、取り組み内容に課題がある場合は「△」とするほか、「評価に対する説明等」欄を有効的に活用して、評価を行う。
- ・上記項目は、指定管理者の業務内容に応じて、適宜、変更すること。

### ③提案事業の評価

項目	実施計画 (事業計画)	実施内容 (事業報告)	評価	評価に対する説明等 (目標達成度など)
日本木管コンクール	クラリネット部門、全4日	145名出場(欠席者除く) 延べ793名来場	○	前回、前々回より出場者は増加している。

- ・「評価」欄には、「○ △ ×」で記入する。
- ・効果的な取り組みである場合は「○」、取り組み内容に課題がある場合は「△」とするほか、「評価に対する説明等」欄を有効的に活用して、評価を行う。

### ④自主事業の評価

項目	実施計画 (事業計画)	実施内容 (事業報告)	コメント (サービス向上への効果等)
「新・技のデパート」講演会	相撲に関する講演会	110人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主事業20事業(前年度比3事業増)となっており、ホールの特色である響きを活かした音楽を中心に、多彩な舞台芸術の公演を企画し、市民に良質な芸術の鑑賞機会を提供している。加東市出身でクリーヴランド管弦楽団首席テューバ奏者らによるスペシャル公演を開催し、世界レベルの演奏会が開催され、また充実した事業運営を図るため、夏祭りイベントという形をとり、カラオケ大会など、市民参加型の事業を展開したことも評価できる。</li> </ul>
(共催)アルビレオ・ウィンドアンサンブル演奏会	アルビレオ・ウィンドアンサンブル演奏会	521人	
テアトルコスミック	映画の上映1回	180人	
(共催)社吹奏楽団2017春ファミリーコンサート	地元吹奏楽団演奏会(ゲスト:元NHK交響楽団金管奏者)	580人	
・満員御礼と言わせてください!!!ワタナベフラワーライブ in TOJO ・木のおもちゃ展示販売会・ワークショップ	・神戸のワクワクロックンロールバンド「ワタナベフラワー」によるライブ ・おもちゃコンサルタントによる展示販売会 ・コマと指人形づくりのワークショップ	290人	
トリオ・ラ・プラージュ東条公演	木管コンクール過去入賞者によるコンサート(クラリネット・ピアノ・ヴァイオリン)	119人	
コスミックサロンDE名盤鑑賞会	CD鑑賞会・講師による解説付き	27人	
はじめてのフルーツ教室 第一期生発表会&中野真理フルーツ演奏会	初めてのフルーツ教室	120人	
熊本マリ&石田純一「作曲家のラブレター」	ピアノと朗読によるコンサート	178人	
クリーヴランドローブラスセミナー	トロンボーンとテューバのセミナー	44人	
クリーヴランドローブラスセミナースペシャルコンサート	セミナーの講師・参加者によるコンサート	320人	

コスミック納涼祭&カラオケ大会・さくらまやコンサート	納涼祭・カラオケ大会・さくらまや氏によるコンサート	219 人	
トリオ・サンクァンシュ東条公演	NHK 交響楽団メンバーによる演奏会(オーボエ・クラリネット・ファゴット)木管コンクール過去入賞者を含む	145 人	
(共催)コスミック&レイモンド英語サークル ハロウィンパーティー	英語劇鑑賞・粘土キャンドル作り	30 人	
(共催)神秘の歌声 Maya コンサート	和太鼓・コーラス・ヴァイオリンによるコンサート	400 人	
小曽根真ワークショップ	「音楽に境界線はない」実演を交えた講演会	139 人	
小曽根真 feat No Name Horses	小曽根真とビッグバンドによるジャズライブ	545 人	
コスミックサロン DE 名盤鑑賞会	CD 鑑賞会・講師による解説付き	30 人	
日本センチュリー交響楽団 東条特別公演～第 28 回日本木管コンクール クラリネット部門 優勝者を迎えて～	日本センチュリー交響楽団・第 28 回日本木管コンクール優勝者による演奏会	556 人	
一からはじめるフルート教室	(協力：ムラマツフルート)フルート教室	参加者 13 人	

収支状況等に関するチェックシート

チェックシート③

①収支の状況

項目		予算額 (事業計画)	決算額 (事業報告)	適否等検証 (計画・目的達成度など)
収入	指定管理料	15,000千円	15,000千円	
	利用料金	8,625千円	3,763千円	4,862千円収入減
	事業収入	14,537千円	13,407千円	1,130千円収入減
	その他収入	4,530千円	10,721千円	6,191千円収入増
	収入計(a)	42,692千円	42,891千円	199千円収入増
支出	人件費	10,281千円	11,485千円	1,204千円支出増
	施設維持管理費	0円	0円	
	事業費	38,266千円	44,130千円	5,864千円支出増
	その他 (公租公課など)	100千円	88千円	12千円支出減
	支出計(b)	48,647千円	55,703千円	7,056千円支出増
(a) - (b)		△5,955千円	△12,812千円	
前年度繰越		17,588千円	17,588千円	内、前期繰越正味財産206千円含む
収支		11,633千円	4,776千円	

②収支の評価

項目	基準	評価	評価に対する説明等
指定管理業務の 収支	指定管理料等の範囲内(収支計画に沿った内容)で運営が行われているか	△	自主事業の回数を増やし、高額の演奏家を招いたことが経営を圧迫している要因であると考えられるため、採算性を視野に入れた経営が必要である。
	収入増加のための取り組みがなされているか	○	寄付金や協賛金を獲得するための取り組みにより、収入を安定させている。指定管理者の努力によるものである。
	管理経費の縮減に関する取り組みがなされているか	○	ボランティアを利用することで、人件費の抑制に尽力されている。
	効率的・効果的な運営が行われているか	○	

- ・「評価」欄には、「○ △ ×」で記入する。
- ・効果的な取り組みである場合は「○」、取り組み内容に課題がある場合は「△」とするほか、「評価に対する説明等」欄を有効的に活用して、評価を行う。
- ・上記項目は、指定管理者の業務内容に応じて、適宜、変更すること。

## 平成29年度 指定管理者モニタリング報告書

施設名	加東市東条文化会館
施設所在地	加東市天神66番地
指定管理者	名称 株式会社五洋産業・特定非営利活動法人新しい風かとう 代表者 土肥富幸 住所 加東市天神66番地（代表団体の住所）
モニタリングの実施方針・方法等	本施設の管理運営業務の確認にあたっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、利用者アンケート、指定管理者へのヒアリング等により把握した。 次のとおり、具体的な業務の履行状況等についての確認結果をコメントしたうえで、モニタリングの「総合コメント」及び「今後の改善に向けた考え方」を記載した。
担当課	加東市教育委員会生涯学習課      Tel.0795-43-0545 担当者氏名 稲岡 孝泰

### 1 総合コメント

協定書等の基準を遵守し、適正に遂行できたと認められる。

自主事業において、音楽、芸能、映画ほか様々なジャンルにおいて、質の高い芸術文化を鑑賞する機会を提供し、地域の文化振興に成果があったものと判断する。

課題であったホール稼働率、ホール利用者数は、前年度と比べ大幅に改善されている。ホール稼働率は、前年度比較12.3%上昇、利用者数は2,845人増となっており、指定管理者の努力によるものであると言える。引き続き、指定管理者の強みを生かした事業展開を行っていくとともに、事業の見直しや新規事業により、利用者のニーズに合った事業展開を期待したい。

### 2 今後の改善に向けた考え方

ボランティアを活用し人件費を抑えることで、経費の縮減に取り組まれていることは評価できる。しかし、事業費が大幅に増加しており、チケット単価の設定について見直しを図るなど綿密な収支計画を作成する必要がある。引き続き、集客力のある魅力的な企画を実施し、経費面において負担リスクの少ない方法を検討されたい。

### 3 業務の履行状況について

指定管理者が行う必要のある事業・業務はおおむね達成できている。昨年からの課題であったホールの利用状況については、当ホールの稼働率は40.3%、年間入場者数は14,449人である。(公社)公立文化施設協会の調査(平成27年度実績)の「5万人未満の市平均」で比較すると、稼働率41.8%に対し1.5%下回っており、年間入場者数24,510人に対し10,061人下回っている。更なる施設利用率の向上の取り組みが必要である。

【参考】(公社)公立文化施設協会の調査(平成27年度実績)

全国平均稼働率	53.3%
10万人未満の市の平均稼働率	45.6%
5万人未満の市の平均稼働率	41.8%
町村等の平均稼働率	40.6%
年間入場者数の全国平均	61,195人
10万人未満の市平均	34,345人
5万人未満の市の平均	24,510人
町村等の平均	20,197人

### 4 サービスの質について

事業計画に基づき、特色のある事業を行っており、アンケート調査結果から、利用者の意見や要望を自主事業や日常業務に反映するよう努力されており、イベントの内容、料金設定等への満足が確認できている。加えて、利用者の満足度向上のため、施設職員で共有し、問題の改善に努めていることは評価できる。

提案事業である日本木管コンクールについては、出場者の増加に向けた指定管理者の新たな取組により、出場者数は、前回、前々回より増加しており、当コンクールの発展に貢献したと言える。引き続き、今後の出場者数の増減については注視する必要がある。

### 5 収支状況等について

収支状況については、最終的に黒字決算となっており、概ね順調であると判断できるが、決算報告書の内容をみれば、寄附金収入が収益を押し上げた結果となっている。毎年多額の寄付金収入を受けることは困難であると予想されるため、採算性を視野に入れた経営が必要である。